

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーのマジック



縦から横へ
横の繋がりで感動を創ろう

RI会長 ステファニーA・アーチック 2024～2025

富津中央RC会長 神子 恒

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2769 第4回例会 2024. 7. 25 晴

点 鐘：神子 恒 会長

進 行：栗原典子 SAA

ソング：四つのテスト

幹事報告

朝月真次郎 幹事



1. RLI委員会よりRLIパートIのご案内
2. ガバナー事務所より「コーディネーターニュース2024年8月号」のお知らせ
3. ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より「風の便り」のお知らせ
4. インターアクト委員会より年次大会のご案内

会長挨拶

神子 恒 会長



暑い日が続きます。皆様には体調はいかがでしょう？ お健やかに過ごしのことと存じます。

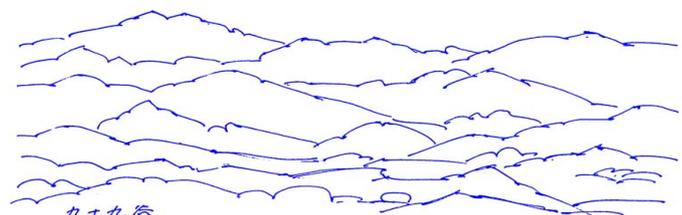
さて、7月例会も最終例会日を迎え、バタバタとした動きの多い例会を過ごしてまいりましたが、ふと“思い”を周りに巡りますと、家の周りの稲穂が、少し色合いを変え、頭を垂れるがごとく、垂れ下がるようになっていきます。自然に備わる知恵そのものが、大きく働き、次のステージに向かう姿勢を強く感じ入る事でしたが、私も素直に、力む事無く、自然体で行こうと、思わせられた様な気持ちにさせられました。

ガバナー補佐挨拶

榎本守男 ガバナー補佐



〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



皆さんお久しぶりです。第5グループG補佐の第1回目訪問が終わりました。

やっと解放された気分です。

各クラブを回って想像以上に現状認識と問題点の把握に乖離があることに気づきました。

会員数・出席率・接遇・意識・活動内容・クラブメンバーの人間関係など訪問しなければ分からなかった事が、はっきり把握出来ました。2回目の訪問の時に適切なアドバイスが出来ればと思っています。

いずれのクラブでも一番大切なことは、いい雰囲気集い、自分の考えを自由に発言できる事だと思います。

富津中央RCには笠原初代会長の言葉が伝統祖述として残っています。

「ロータリーの鐘よ 永遠に！」

「ロータリー活動で、よき人が集い、互いに高めあい、仲良く手を取り、平和に貢献し、佳き生涯を送りましょう。」

この素晴らしい言葉を、クラブ全員が認識し行動することがクラブの発展につながると思います。

<仲良きことは美しき哉> 実篤

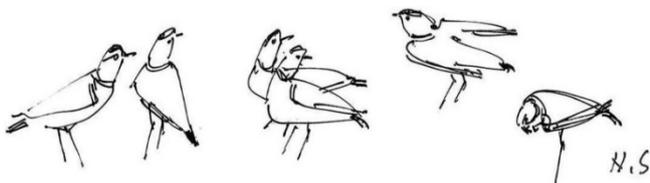
委員会報告

マザー牧場夜間例会について

白石幸久 親睦担当部長



先週に引き続き白石親睦担当部長より、会員のバスの送迎に関し、きめ細かな説明がなされた。



会員卓話

ラーニングファシリテーター・プレゼンテーション

三枝一雄会員、久保顯彦会員



ラーニングファシリテーター・プレゼンテーションとは、ロータリー歴が長い会員と浅い会員がペアを組み、入会歴の浅い会員が考えた富津中央RCの「課題」をテーマとして議論を深め、その中での「学び」「気付き」「まとめ」等を会員に発表し共有する場であり、第一回はロータリー歴48年の三枝リーダーとロータリー歴2年の久保会員がプレゼンテーションを行った。

1. 開会の挨拶

三枝一雄 ラーニングファシリテーター

会長並びに幹事の意向でこの会のリーダーを仰せつかり第一回を久保会員と行いますが、既に二回対談をしました。そこで感じたことは、私の頭脳の埋もれた中から“いいもの”を導き出してもらったことから、ファシリテーターとは巧みに優しくそれぞれの人の長所を引き出して生き活きとさせるものだと実感いたしました。

2. 事前準備①(第一回対談に向けて)

課題とゴールの設定

久保顯彦会員

2022年にビジョン策定委員会(榎本守男委員長)が立案した2028年のクラブビジョンは、策定時においては6年後の姿であったが、今現在からは現実感を持つ4年後となり、達成の可否も判断可能となった。そこで20年後のクラブを想像し、現時点での当クラブの長所・短所を考えたうえで、「富津市における富津中央ロータリークラブの存在意義を言語化すること」を課題とし、三枝リーダーと共に「20年後に入会して欲しい現在、中学・

高校・大学に通う青少年にも分かる富津中央RCを表す言葉」を作ることをゴールと定めた。

三枝リーダーへの質問①

言語化するためには当クラブの歴史を学ぶ必要があり、三枝リーダーに対して①なぜロータリーに入会したのか、② 富津中央ロータリークラブの歴史、③富津中央ロータリークラブについて、以上3点を主な質問事項としてまとめた。

3. 第一回対談

久保顯彦会員

日時:2024. 7/16. 15:00~17:00

場所:三枝病院 理事長室

三枝リーダーは、ロータリーでの多くの貴重な写真や資料をご用意して下さいました。

三枝リーダーのロータリーヒストリー

三枝リーダーは、それまでロータリーからの勧誘を歯牙にもかけていなかったが、師匠である藤村義朗名誉会員のご下命により10周年式典の直前の1967年7月に富津中央RC(当時、大佐和RC)に入会された。入会時は最年少で年輩者が多く年齢の差を感じたが、地元こんな立派で人間性に優れた人がいたことに感銘を受け、式典で物故者追悼を担当したことでロータリーの一員になれたと思った、とのことであった。1981年4月に今では恒例となっている第一回句会を主催し、1986年、20周年の節目の年に第21代会長に就任。現在、富津中央ロータリークラブの精神的な支柱となっている。

質問(Q)に対する三枝リーダーの回答(A)

Q 1. 会員との交流はどのようなものでしたか？

A. 思い上がっていた自分を打ち砕いてくれたのはロータリーであった。その中で特に論敵は幼馴染みの志波克さん。長らく院長職を務める僕は、誰にも否定されたことはなかったが、ロータリーでは隣に座る志波さんから「その考えは違う」とズケズケ言われました。志波さんはロータリーに入られて人格者になられた。ロータリー観や世間の感覚を志波さんを通して学びました。ロータリーというところは戒めの場であり、学びの場でもありました。

Q 2. お話しをとおして富津中央には文化があったと強く感じますがいかがでしたか？

A. あの頃は、工学博士である笠原文雄初代会長が深い教養を持ちながらも平易な言葉とユーモアでロータリーを和ませてくれました。また初代幹事のさぶ波館の主人である刈込碩弥さんが代表的文化人でした。学識と教養が高く、広報委員の時に様々なことを教えてくれました。さらには、小野会員の師匠である松本ピアノの松本剛夫さんが飄々としながら僕をイジってくれました。何かと文化の香りが会場にありまして、ロータリーで文化を学びました。恐らく富津のロータリーの中で富津中央が一番文化的であったと思います。

Q 3. ロータリーで失敗したこと、「負の遺産」も受け継ぐべきではないでしょうか？

A. ロータリーには、敗戦の歴史がないのではないと思う。故に反省がないと思う。今なんとなく会員数が減少し困って来ていますが、失敗談は退会された方に聴くしかないかもしれない。ただし、退会した人は本音を言いません。

Q 4. 三枝リーダーにとって「ロータリーとは何か」を教えてください

A. ロータリーというのは、差別がない、競争がなく思いやりがある、港で言えばそこで安心して身体を休める場でありながら、それだけではなく、そこで学ぶものがある。さらに自分が僅かながらに奉仕した喜びを与えてくれる場でもある。また、多様化した時代に多様化した価値観を寛容に受け止めながら、何かしらの努力をする場でもある。階級がなく、比較されることがないということは大きいことです。

4. 事前準備②(第二回対談に向けて)

久保顯彦会員

富津中央RCを表す言葉(案)

三枝リーダーとの第一回対談で得たこと、並びに質問に対する回答をベースにして、「ロータリーには上下関係、差別、比較、競争がありません。社会貢献をミッションとする富津中央ロータリークラブでは文化が学べ、品位を磨けます」という言葉を作成した。

三枝リーダーへの質問②

ゴールに向けて①会長職について、②委員会活動に関して入会時と現在の違い、③辞めたいと思ったこと、④例会に関して入会時と現在での違い、以上4点の質問事項を行ったうえで「富津中央RCを表す言葉(案)」をリーダーと検証することを決めた。

5. 第二回対談

久保顯彦会員

日時:2024. 7/23. 15:00~17:00

場所:三枝病院 理事長室

質問(Q)に対する三枝リーダーの回答(A)

Q 1. 会長職はいかがでしたか？

A. ロータリーの会長をお引き受けしたときは、20周年の節目の年であり、全体としてロータリーは、幹事を始め担当者が優秀で熱心で会員が自主的に積極的に会長を助けてくれるところであり、皆さまがよくお膳立てをしてくれました。僕自身、後悔していることはありません。

Q 2. 委員会活動についてかつてと今では何か違いがありますか？

A. 委員会の構成自体は変わらないと思うけど、対外的な活動はコロナ禍によってかなり抑制されたと思います。コロナ禍前まではもっと社会奉仕や青少年奉仕、それ以外の奉仕活動等対外的なアクションはあったと思います。

Q 3. ロータリーを辞めたいと思ったことはありますか？

A. 私は一度もロータリーを辞めたいと思ったことはありません。従って、辞める人の気持ちが分かりません。ただロータリーを学び取る受け皿を持たない人が辞めていくのかもしれない。

Q 4. 例会ですが入会時と現在で何か違いはありますか？

A. 昔の方がもっと活発な議論を例会内でしました。激論を交わしましたが、最後は笑顔で別れました。例会内での議論がいつ頃から無くなったかは、次の石渡会員、小野会員、平川会員に聞いてみてください。

富津中央RCを表す言葉(案)に対して

三枝リーダーからは、ロータリーは奉仕が生命でありしかもそれを5つに分けたことから「社会貢献をミッションとする」言葉は、社会奉仕が突出しているように感じられると指摘を受け、「様々な奉仕をミッションとする」に改めた。

6. ゴール(富津中央RCを表す言葉)

久保顯彦会員

『ロータリーには上下関係、差別、比較、競争がありません。様々な奉仕をミッションとする富津中央ロータリークラブでは文化が学べ、品位を磨けます』という言葉是三枝リーダーの助言のもと作成した。

7. 文化をたかめるために

久保顯彦会員

富津中央RCを表す言葉を作成したものの、三枝リーダーからは「文化を高めなければいけない」と提案され、「敢えて言えば、会員の皆さんにお持ちになっている職業上もしくは趣味の上での特技を出していただいて、それを高めあったり、学び合ったりして、また新しい会員の方々も遠慮無く余技を披露していただいた方が、このクラブは良いという方向付けになるのでは」とのメッセージを頂戴した。

8. 三枝リーダーとの対談で得た「学び」「気付き」

久保顯彦会員

三枝リーダーは常に素直で謙虚、その好奇心旺盛な姿勢は学びに飢えている学生のようにありました。ファシリテーターとしてゴールに向けて様々なものを引き出すことが使命である私の質問に対して三枝リーダーは、私の役目を理解したうえで質問内容を瞬時に把握し、適切な回答を複数用意したうえで当意即妙に応じてくださりました。頭脳明晰にして才気煥発なリーダーには本当に感服いたしました。対談のなかで私が知らなかった「智に働けば角が立つ」、「啐啄同時」、「不易流行」、「陰徳を積む」という言葉をお聞きし、改めて日本の古典文学を学び教養を深めようと痛感しました。三枝リーダーは『知の巨人』であると再認識すると共にリーダーの存在が当クラブの文化であると結論付けました。

4時間に及ぶ二回の対談では数え切れない程の学

びがあり、本当に楽しい珠玉の時間は私の財産となりました。このような機会をいただき神子会長、朝月幹事には感謝申し上げます。

9. 三枝リーダーによる総括

三枝一雄 ラーニングファシリテーター

ありがとうございました。これは久保会員が私の眠っていた“いいところ”だけを引き出してくれた、そういう感じでございまして、ファシリテーションというのは、それぞれの対話を通してその人の眠っている“いいところ”を引き出してくれる、まさにこれがアクティブ・ラーニングだと思いました。

写真集(三枝会員のロータリー足跡)

入会(43歳)



第21代会長就任



創立20周年記念式典



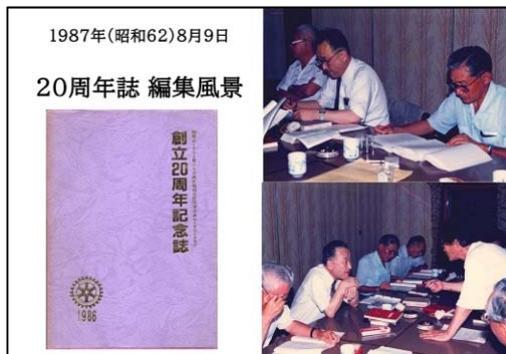
20周年誌編集風景



1988年土屋ガバナー公式訪問



20周年記念誌と編集風景



第1回ロータリー句会



嘉義南扶輪社10周年式典参加



アルギン酸を使用してロータリー手形作成



ニコニコBOX

白石幸久 親睦担当部長

ラーニングファシリテーターとして、三枝会員と久保会員の素晴らしい話を聞かせていただいて相川恵津子、志波生朗、飯島由美、朝月真次郎久保顕彦 ラーニングファシリテーターをやらせていただきました。三枝会員有難うございました。

三枝一雄 <シテがいてにわか魔法使いかな>

榎本守男 1回目のガバナー補佐訪問が終わりました。

神子 恒 新しいことが始まります。三枝会員、久保会員ご苦労様です。

津田 望 先週のビアガーデン楽しかったです。次回の土曜日にも楽しみにしています。

高橋裕之 暑さに負けそうです。

小野恒靖 同上

白石幸久 マザー牧場例会よろしくお願ひします。

* >1,000円 合計 12,000

出席報告

飯島由美 出席担当部長



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	37/36	26	11	0	72.22%
前回	37/36	28	9	2	75.68%
前々回	37/36	22	12	3	77.78%

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$

本日の昼食



編集後記

ファシリテータープレゼンテーションの原稿を編集していて、その内容の素晴らしさと、三枝会員のロータリー歴から、ロータリーの真髓と本質を貫く、言葉に接し、ロータリーの良さを改めて教えられました。この対談をリードし、私たちが日ごろ尊敬する三枝会員の素晴らしい言葉を引き出し、まとめ上げた久保会員のご尽力に敬意を表します。(すどう)